

6. 旧新橋停車場付近

旧町名由来板 めぐり 20-6



汐留より蒸気車御開業祭礼之図
昇斎一景 明治5年 (1872)

A colored woodblock print titled
"the first railway in Japan at the former Shimbashi Terminal
(Shiodome yori Jōkisha-gokaigyō Sairei no Zu)"
by Shosai Ikkei, 1872

しおどめ 汐留

しょうわ しおどめちょう しんせんざちょう
昭和七年 (1932)、汐留町一、二丁目および新銭座町の一部を合併して設立された町で、当時は町域のほとんどが元汐留駅の構内に含まれており、北東に汐留川、東に浜離宮を控えた場所にありました。汐留川は土橋で堀止まりのため潮汐の干満は外堀には通じず、汐がこの堀で止まることから汐留川と呼ばれるようになりましたが、いつの頃からかこの辺りの地名のようになったとのことです。

しばぐち 芝口

としまぐんしばむら ほんしば しば
かつての豊島郡芝村 (後に本芝、現在の芝四丁目) を中心として「芝」と呼ばれる広い地域へ通じる場所ということから芝口と称されるようになったようです。宝永七年 (1710) には、一時期江戸の南の出入口として機能した芝口門がたてられ、門の南側の日比谷町一、二、三丁目は芝口一、二、三丁目と改称されました。文政年間 (1818~1830)、芝口三丁目の名主を勤めた長兵衛の十一代前の先祖長兵衛は芝口の前身、日比谷町の開拓者と伝えられています。

げんすけちょう 源助町

げんすけちょう えど なぬしやく むろうげんすけ まちや
源助町は江戸時代のはじめ、名主役の無浪源助が創設した町屋です。その頃、源助町横丁の桑山家屋敷内には水が赤く、飲料にもならない「油の井」と称する井戸がありました。あるとき、この井戸から弁財天の像を一体掘り出したところ、美しい清水が湧き「弁天の井」と称するようになりました。この弁天様は明和六年 (1769)、当時芝口三丁目にあった日比谷稻荷へ相殿して祭られるようになったそうです。



平成18年(2006)



大正10年(1921)

The origins of old town names in Shiba area.

This signboard guides the origins of old town names, each of which in most cases represents its own history of the beginning or the location.

Shiodome

This town was born in the 7th year of the Showa period (1932), from the union of Shiodome-chō 1-chōme, 2-chōme and a part of Shinsenza-chō. In the northeastern part of the town flows Shiodome River, after which this area is named.

Shibaguchi

The extensive area corresponding to Shiba-mura village (the present Shiba 4-chōme) in Toshima district and its neighborhood was called "Shiba". The name Shibaguchi means "the entrance to Shiba," as this place was so located. In 1710 Shibaguchi-mon gate was constructed to work as the south gate of the Edo city for a certain period of time.

Gensuke-chō

This town was established by the headman Muro Gensuke early in the Edo period. To honour this great founder, it was named after him.

芝地区総合支所 03-3578-3111(代表)

ここは、港区東新橋1-5です。